

SU1R5/SUC1R5 信頼性試験実績一覧表

EHB 4Z08
平成16年12月17日
コーセル株式会社
第二開発部 高田

項番	試験項目	試験条件	判定条件	サンプル数	合格数
1	温度サイクル試験 (TC)	(1) 備考欄の前処理1を行う (2) $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow 125^{\circ}\text{C}$ 各30分 (3) 800サイクル	(1) 試験前後で電気特性に異常がないこと (2) はんだ付け部にクラックがないこと	5	5
2	高温高湿 バイアス試験 (THB)	(1) 備考欄の前処理1を行う (2) 85°C , 85%Rh (3) 定格入力電圧印加 (4) 無負荷 (5) 1000時間	(1) 試験前後で電気特性に異常がないこと	3	3
3	振動・衝撃試験	振動 (1) $f=10 \sim 55\text{Hz}$: 98.0m/s^2 (2) 周期 : 3分間 (3) X,Y,Z各60分間 衝撃 (1) 490.3m/s^2 (2) X,Y,Z各1回 (3) 11ms	(1) 試験前後で電気特性に異常がないこと (2) はんだ付け部にクラックがないこと (3) 外観上著しい損傷がないこと (1) 試験前後で電気特性に異常がないこと (2) はんだ付け部にクラックがないこと (3) 外観上著しい損傷がないこと	3	3
4	はんだ耐熱試験 (はんだゴテ)	(1) $340 \sim 360^{\circ}\text{C}$ のはんだゴテで7.5sec はんだ付けを実施 (2) 実装基板は $t=1.6$ のCEM3を使用	(1) 外観及び端子はんだ付け部に著しい損傷がないこと	1	1
5	はんだ付け性試験	(1) 備考欄の前処理2を行う (2) $235 \pm 5^{\circ}\text{C}$ のはんだ中に $2 \pm 0.5\text{sec}$ 浸漬する	(1) 浸漬部分の95%以上はんだが付いていること	1	1
6	端子折り曲げ試験	(1) 荷重250gのおもりを端子につるす (2) 製品を左右 90° に各1回回転させる	(1) 試験後、外観に異常が認められないこと (2) 試験前後の電気特性に異常がないこと	1	1
7	静電気試験	(1) 印加電圧 $\pm 8\text{kV}$ (2) 定格入力電圧印加 (3) 定格負荷電流	(1) 保護回路の誤動作がないこと (2) 制御回路誤動作による出力電圧の低下がないこと (3) その他機能の誤動作がないこと	1	1

備考欄

前処理1

手順1. 吸湿処理 : 85°C 、85%Rh、168時間
手順2. リフロー処理 : ピーク温度 245°C 、2回

前処理2

手順1. 水蒸気エージング : 100°C 、100%Rh、1時間
手順2. フラックス浸漬